



ひとりだち



可児市立西可児中学校

R6 校報第13号

令和7年3月21日



西可児中の今 ~本校4つのミッション~

校長 吉田竹虎

卒業証書授与式を終え、修了式が迫ってきました。令和6年度が終わろうとしています。今年度を振り返りながら、「西可児中の現在」をお知らせします。

生徒数 359 名、通常学級 11 クラス、特別支援学級 5 クラスです。生徒数は広陵中と分離した昭和 61 年以降、緩やかに減少しています。

そして、令和 10 年度に開校 50 周年を迎えます。ここまでの卒業生は、10,967 名です。

さて、本校は令和元年度に、「可茂地区研修校」（可茂地区市町村教育委員会連合会・可茂教育事務所）の指定を受けました。

これにより、いくつかのミッションが加わっています。

- (1) 地域の学校 ⇒これはどこの学校も同様です。春里地区・南帷子地区の大事なお子様を預かっています。
- (2) 研修校 ⇒可児市以外の市町村からも何名かの教員が派遣されています。先生達はお互いに研鑽しながら、他校の先生方に学校の様子を随時公開しています。よって、外部からの参観者（研修者）も多い学校となっています。
- (3) 先進校 ⇒研修校なので、他校よりも一歩先の教育実践を目指しています。3年に一度の大きな発表会を R6. 12. 4 に行い、地区外の方も含め 402 名の参観者が本校生徒の様子をご覧になられました。
- (4) 実習校 ⇒毎年、岐阜大学教育学部の 2・3 年生が各 15 名程、教育実習でおとずれます。先生の卵の学生に、中学校教職員の楽しさややりがいを感じてもらっています。

生徒によく話す「一人じゃないひとりだち」。教職員も、全く同様の感覚をもちながら日々の教育実践に励んでいます。

以下は、卒業式式辞の一部です。職員へのメッセージでもあります。

【・・・西可児中は「緑」をスクールカラーにしています。「緑」は、生命力、平和、穏やかさ、知性、そして、新しい息吹、を象徴する色です。

「協友祭」で、「西可児グリーン」という話をしました。この「若葉台の、緑の丘の西可児中」は、いつまでも君達の母校です。皆さんは、これからも、様々な困難にぶつかります。逃げ出したくなることもあるでしょう。そんな時は、「西可児グリーン」という言葉を思い出して、これからの人生を、たくましく生き抜いてください。・・・】

令和7年度も、どうぞよろしくお願ひ致します。

